

# 横浜市立大学サマーデザインワークショップ 2021年度



インバウンド旅行者の  
消費額を増やすために、  
観光地域は  
どんな準備をすればよいか

観光で地域が儲ける方法

株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ  
丸山芳子

# 観光立国推進基本計画(2017年3月28日閣議決定)の7つの目標

項目		2019年実績	2020年目標値	
○国内観光の 拡大・充実	1. 国内旅行消費額	21.9兆円	21兆円	○
	○国際観光の 拡大・充実	2. 訪日外国人旅行者数	3,188万人	4,000万人
	3. 訪日外国人旅行消費額	4兆8,113億円	8兆円	× (目標値の60%)
	4. 訪日外国人旅行者に占める リピーター数	2,047万人	2,400万人	△ (目標値の85%)
	5. 訪日外国人旅行者の地方部 における延べ宿泊者数	4,309万人泊	7,000万人泊	× (目標値の62%)
	6. アジア主要国における国際 会議の開催件数に占める割合	527件(30.4%)	アジア最大の 開催国 (3割以上)	○
	7. 日本人の海外旅行者数	2,008万人	2,000万人	○

旅行者数の目標達成より、消費額の目標の達成度合いが低い

## 年別 訪日外客数の推移



データ更新日:2021/06/18 8:22:39 UTC

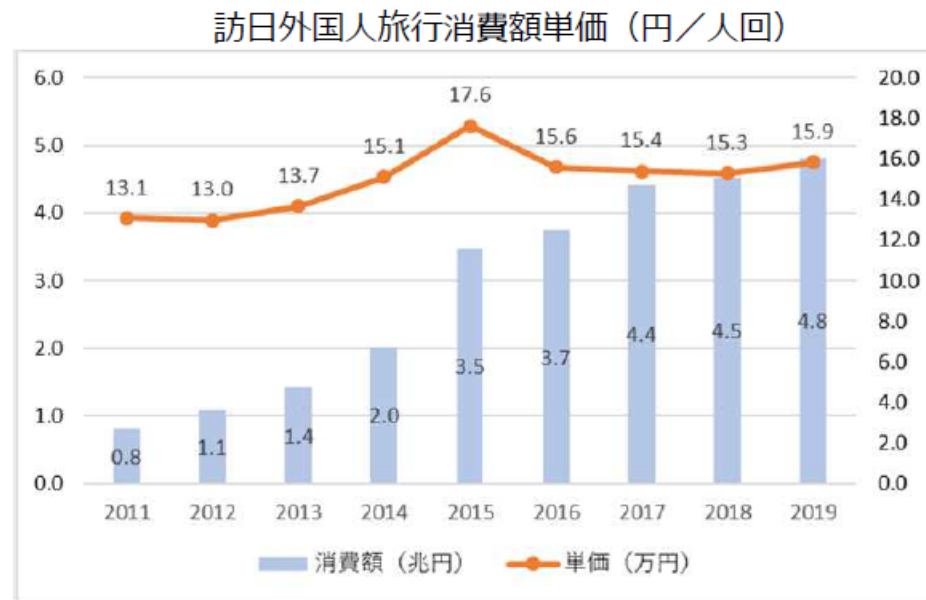
- ◆訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。乗員上陸数は含んでいない。
- ◆2007年以降の「観光客」の数値には「一時上陸客（通過客）」が含まれる。  
訪日ビザを取得せずに日本での短期滞在が認められている国からの「一時上陸客」は、従来「観光客」に含まれており、「一時上陸客」の人数を別途把握することは不可能であった。それに加え、韓国、台湾、香港等からの短期滞在者に対する訪日ビザの免除措置が取られたことにより、近年、「一時上陸客」の該当者が「観光客」に組み込まれるようになり、「一時上陸客」は激減した。  
「一時上陸客」の日本での滞在が短期間であるとは言え、事実上観光客と行動が同様である実態に鑑み、2007年以降は「一時上陸客」を「観光客」に加え、「観光客」の定義を変更することとした。
- ◆1964年～2019年は確定値、2020年1月～2021年3月は暫定値である。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

消費総額が増えていないのは、消費単価が低迷しているためである。

1人当たり宿泊日数も増加していない。

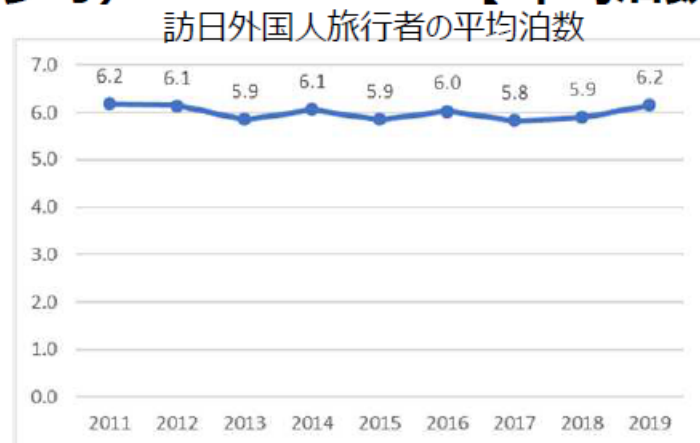
## 【 旅行消費額単価（回） 】



➤ 2016年以降、消費額単価は減少。

出典) 訪日外国人消費動向調査 (観光庁)

## (参考) 【 平均泊数 】

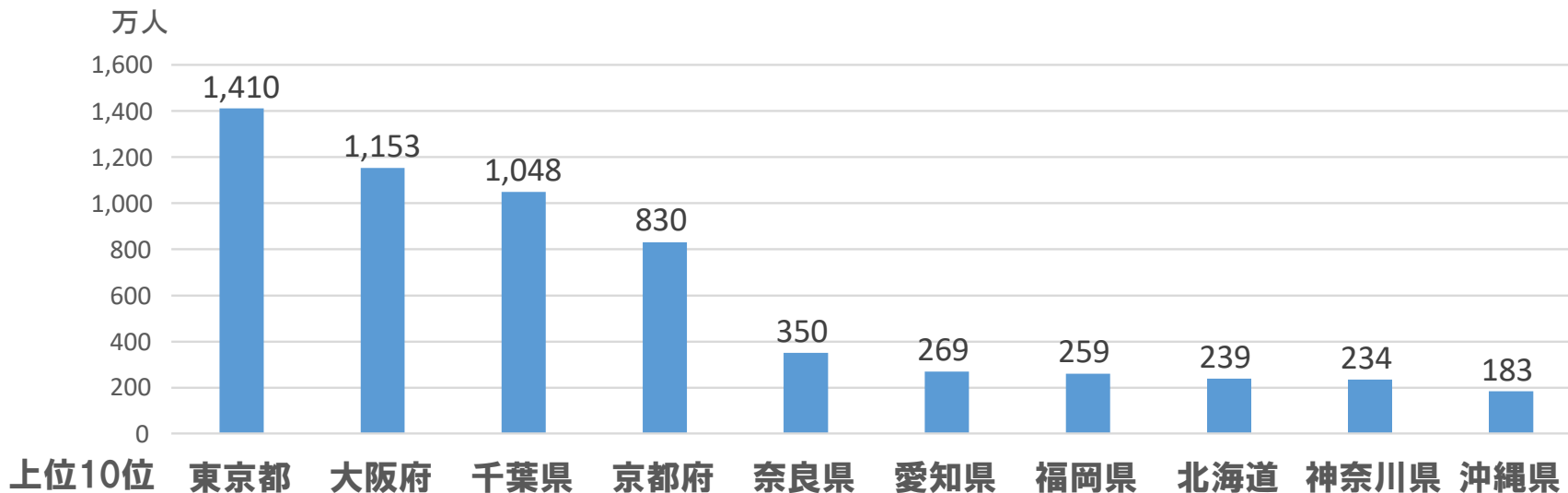


➤ 訪日外国人旅行者の平均泊数は6泊／人回でほぼ一定。

出典) 訪日外国人消費動向調査 (観光庁)

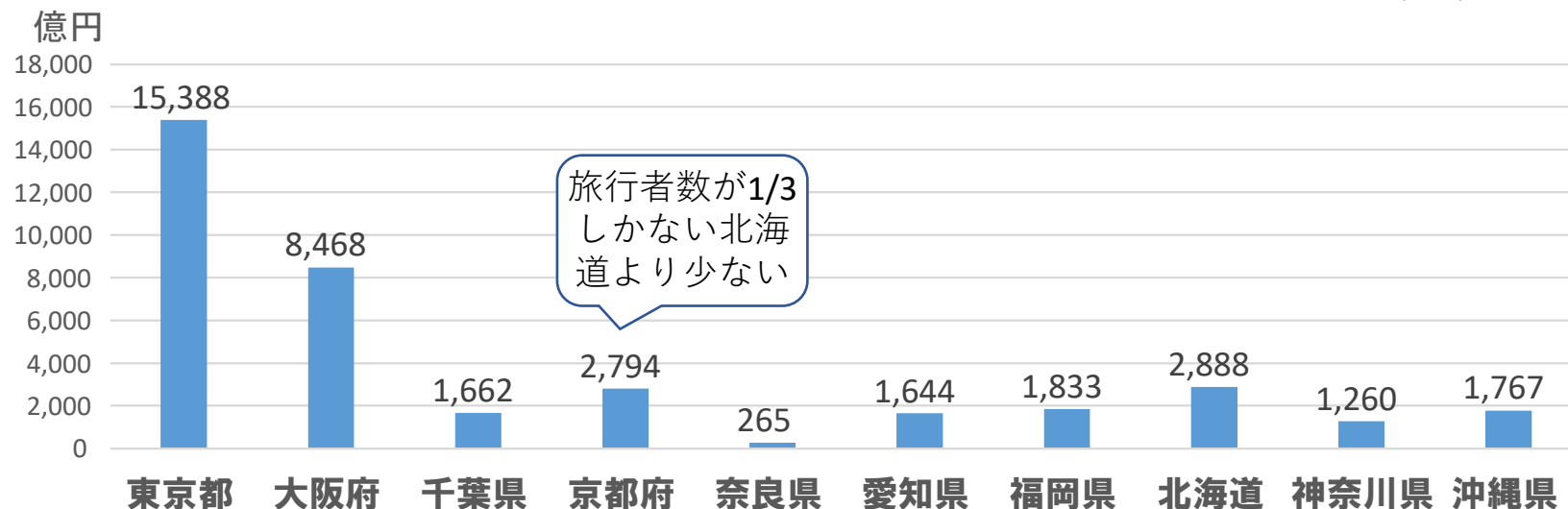

2019年

都道府県別  
訪日外国人  
旅行者数  
(全目的)



出所:訪日外国人消費動向調査、2019年(暦年)、観光庁

都道府県別  
訪日外国人  
旅行消費額  
(全目的)



出所:訪日外国人消費動向調査、2019年(暦年)、観光庁

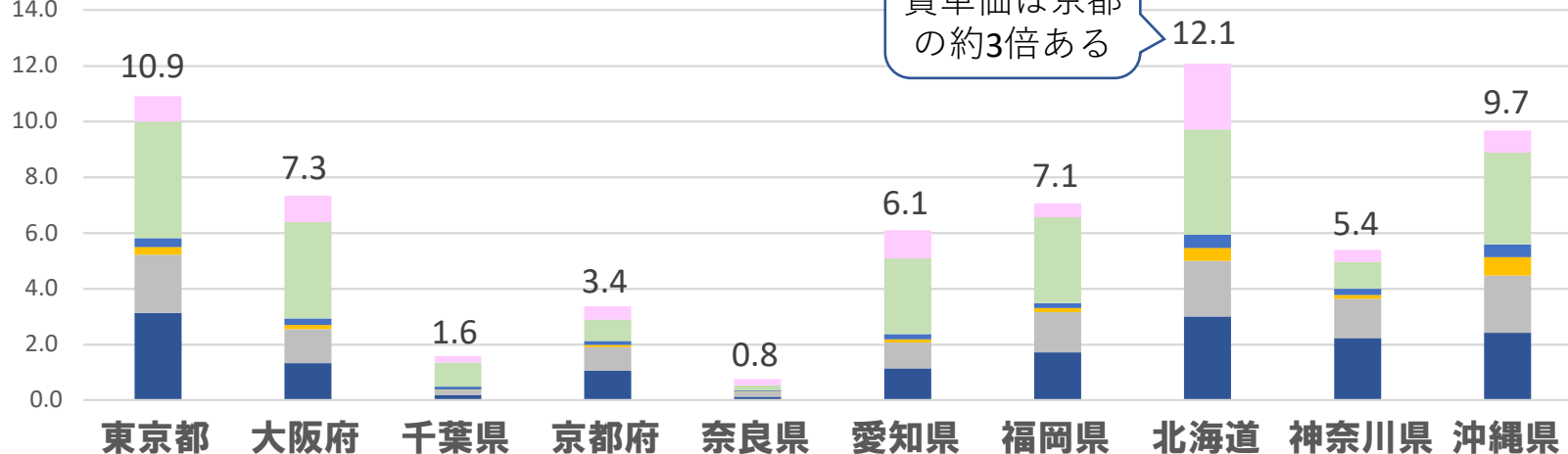
**インバウンド旅行者数が多い地域で消費総額が多いとは限らない。**

2019年

都道府県別  
訪日外国人  
旅行消費単価  
(全目的)



万円 実数 積み上げグラフ

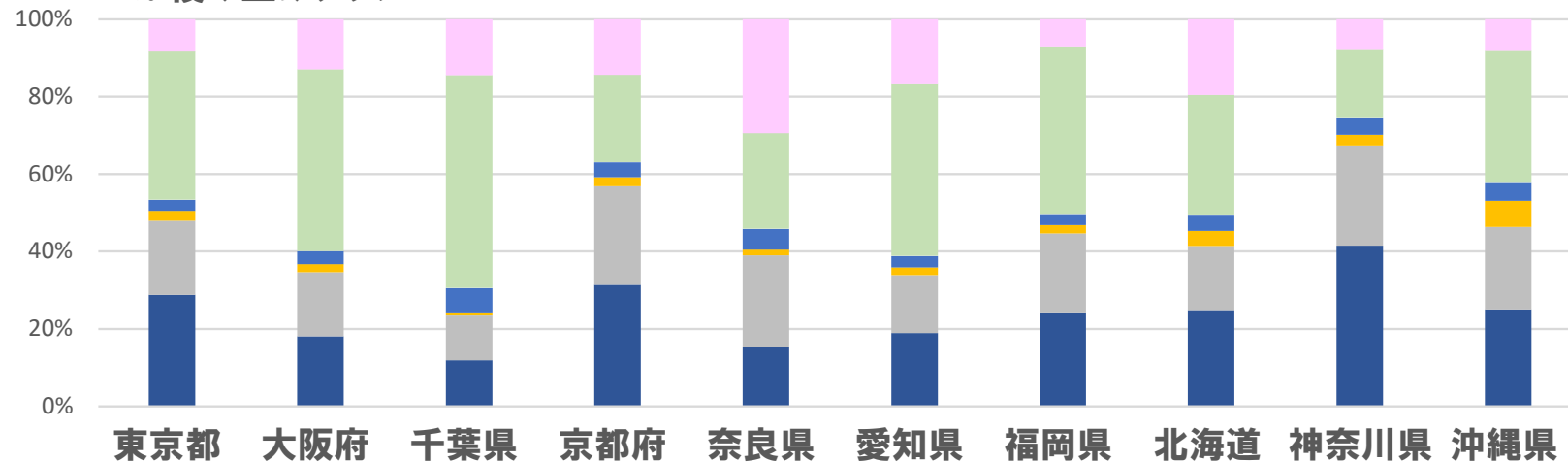


北海道での消費単価は京都の約3倍ある

- 団体パック参加費
- 買物代
- 娯楽等サービス費
- 交通費
- 飲食費
- 宿泊費

出所:訪日外国人消費動向調査、2019年(暦年)、観光庁

% 積み上げグラフ



- 団体パック参加費
- 買物代
- 娯楽等サービス費
- 交通費
- 飲食費
- 宿泊費

出所:訪日外国人消費動向調査、2019年(暦年)、観光庁

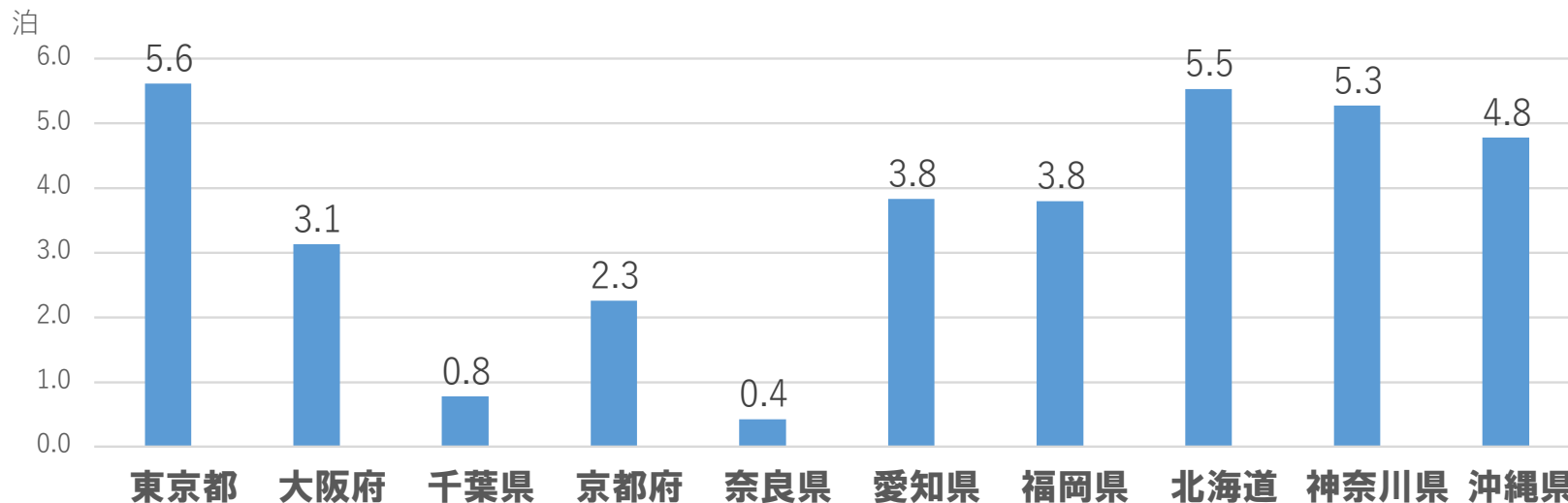
1人あたり消費額や消費の内訳は都道府県ごとにばらつきがある。

都道府県別  
訪日外国人  
旅行消費単価  
(全目的)



2019年

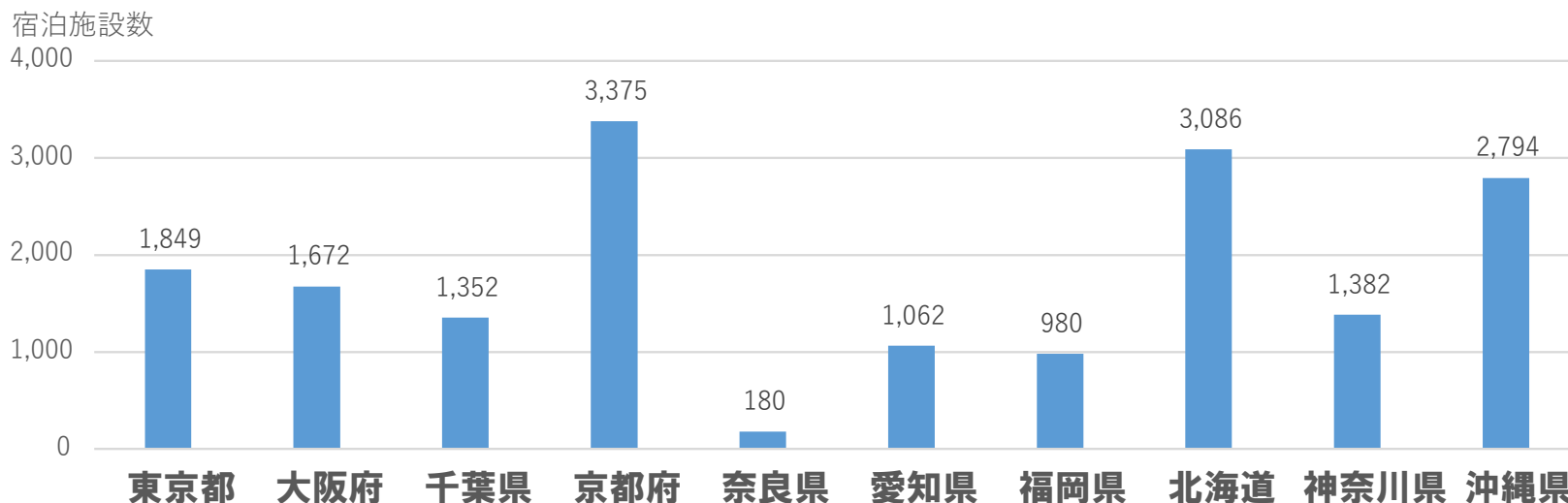
都道府県別  
訪日外国人  
訪問地別平均泊数  
(全目的)



注：国全体の1人当たり平均泊数6泊に満たないのは、インバウンド旅行者は複数の都道府県を訪問するため

出所:訪日外国人消費動向調査、2019年(暦年)、観光庁

宿泊施設数  
(2019年7月時点  
奈良県のみ11月)



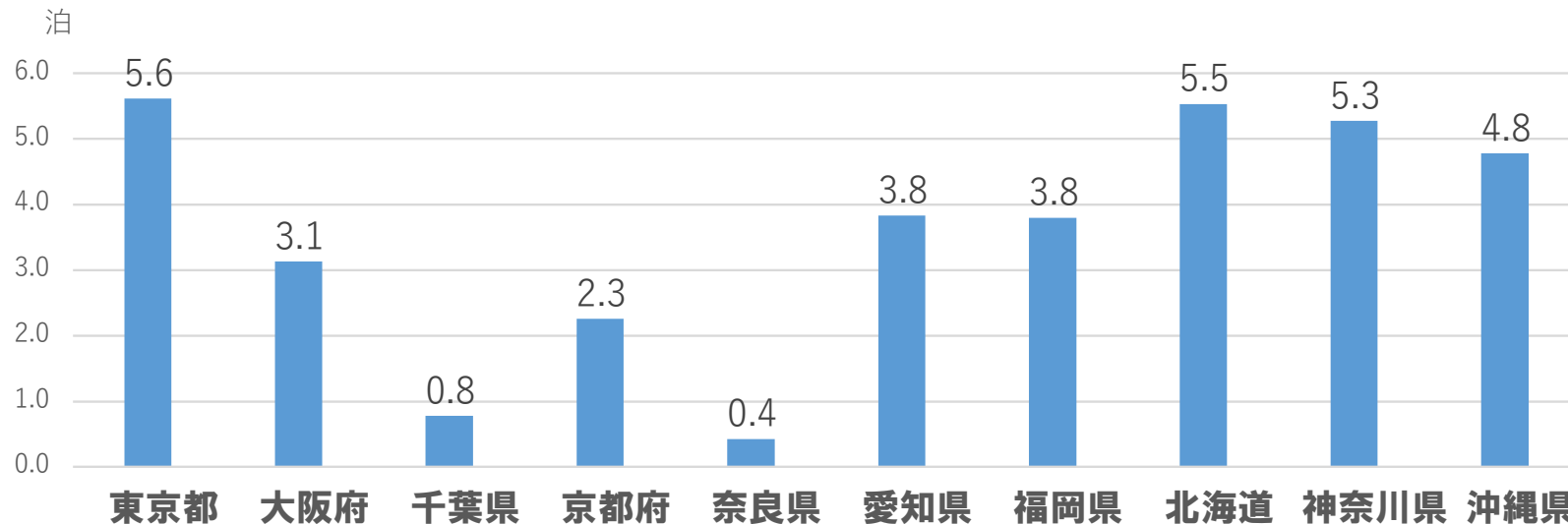
出所:ホテルバンク記事  
<https://hotelbank.jp/japan-hotel-statistics-2020january/> 閲覧日:2021年7月17日

京都府の平均泊数は少ないが、上位10位内では最も施設数が多い。

2019年

都道府県別  
訪日外国人  
訪問地別平均泊数  
(全目的)

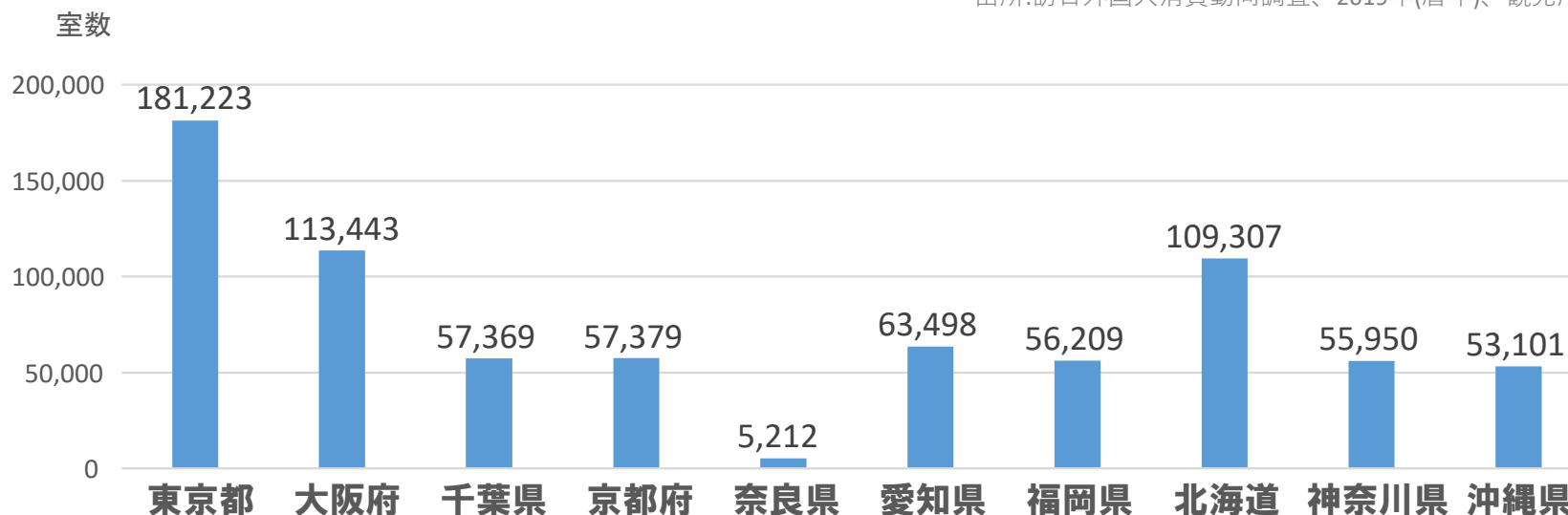
再掲



出所:訪日外国人消費動向調査、2019年(暦年)、観光庁

客室数

(2019年7月時点  
奈良県のみ11月)



出所:ホテルバンク記事

<https://hotelbank.jp/japan-hotel-statistics-2020january/> 閲覧日:2021年7月17日

宿泊日数は、客室数との方が相関があるように見える。



# データ分析レポート

## ①データ分析のタイトル

インバウンド旅行者の都道府県別消費動向

## ③データソース

1. 出所: 交通政策審議会 第38回観光分科会資料「現行の観光立国推進基本計画の目標について」、2020、国土交通省  
[https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s302\\_kanko01.html](https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s302_kanko01.html)  
(閲覧日:2021年7月17日)
2. 訪日外国人消費動向調査、2019年(暦年)、観光庁
3. ホテルバンク記事  
<https://hotelbank.jp/japan-hotel-statistics-2020january/>  
(閲覧日:2021年7月17日)  
※都道府県別の宿泊施設数、客室数は国は調査していないため、民間調査データを使用

## ④データの可視化図

各ページ参照

## ②データ分析者氏名

株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ  
丸山芳子

## ⑤データから読み取れる事実

- 国の観光の基本方針の目標に対し、インバウンド旅行者の1人当たり消費額が伸び悩んでいる。
- インバウンド旅行者数が多くても、消費総額が少ない都道府県がある。(京都府など)
- 旅行消費の内容も都道府県ごとに異なる。京都府を例にすると、隣接する大阪府とでさえ消費に関連する状況が大きく異なる。
  - 1人当たり消費額は、京都府は大阪府の半分以下。
  - 1人当たり宿泊日数は、京都府は大阪府の3/4。
  - 京都府の宿泊施設数は、大阪府の2倍。しかし、客室数では大阪府の半分しかない。

## ⑥データから思うこと

- インバウンド旅行者を誘致するだけでなく、地域で消費や宿泊を増やす準備をしなければ、儲からない。
- 都道府県によって、インバウンド旅行者に消費や宿泊をしてもらう受入れ環境が異なるのではないか。
- 消費を増やす取組は地域ごとに工夫が必要である。地域内のどのような人、企業と協力をするべきか。